

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	情報設計小委員会	主 査 名：松本 文夫 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	空間設計に関わる情報・知識・方法について、および情報世界に構成された空間の特性についての研究を行うことを目的とする。コロナ禍以降の社会環境の課題である人間同士の「近接性」の再構築について研究活動を進めている。 初年度：幅広い学問領域（医学/感染症学、社会学等）からの近接性の考察 2 年度：建築分野の知見を総合化し、新しい近接性の計画的な可能性を提起	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：松本文夫（東京大学） 幹事：湯本長伯（社会構造設計研究所 APPI）、村上晶子（明星大学） 委員：鯨坂徹（鹿児島大学）、石田壽一（東北大学）、伊藤雅春（大久手計画工房）、宇都宮雅人（伊藤喜三郎建築研究所）、浦部智義（日本大学）、遠藤勝勸（遠藤勝勸建築設計室）、河崎昌之（和歌山大学）、佐藤淳（東京大学）、松本正富（京都橋大学）、山岸吉弘（日本大学）、米田正彦（アトリエフォリウム）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/j-000/j300-12/j360-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	『建築設計のためのプログラム事典—名設計の本質（エッセンス）を探る』 日本建築学会編、鹿島出版会、2020 年 10 月 1 日
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	ラウンドテーブル型研究会兼拡大委員会として以下を開催した 1. (ラウンドテーブル) With コロナ時代 世界の見取り図、参加者 20 名 With コロナ時代 世界の見取り図（山本太郎氏/長崎大学） 2. (ラウンドテーブル) コロナ危機と日本社会の変容/硬直、参加者 12 名 コロナ危機と日本社会の変容/硬直（西田亮介氏/東京工業大学）
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 前年度までに査読/脱稿済みの出版物の著作権許諾を済ませ刊行に至った。 2. 研究会は全面的にオンライン開催であるが順調に進んでいる。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 近接性の概念を空間設計に結びつける方法論を次年度にかけて検討する。 2. オンライン開催では参加者のフィードバックが得にくいことがある。